

## 【資料2-1】

### 第5次長期総合計画 後期基本計画に掲げる 「まちづくりの指標」の達成状況等について

#### ■「まちづくりの指標」の達成状況等

##### ●後期基本計画●

基本構想に基づき施策の大綱を具体的に推進するための分野ごとの施策を示すもの

##### ●計画期間●

平成28年度～令和3年度(6か年)

##### ●評価の目的●

定量的に目標管理を行うため、施策の分野ごとに「まちづくりの指標」を設定し、この指標を用いて達成状況に関する評価を行い、計画や事業の見直し等に役立てるもの

##### ●達成状況等●

達成状況については、次のとおり整理した上で取りまとめを行っています。

なお、令和3年度が最終年度となるため、未達成の中でも達成度によって段階を付けて評価を行いました。

達成	令和3年度の実績値が令和3年度の目標値と同値もしくはこれを上回ったもの
未達成A	現時点において、令和3年度の目標値に達していないが、令和4年度中に目標値に達することが見込まれるもの
未達成B	現時点において、令和3年度の目標値に達していないが、今後数年度程度で目標値に達することが見込まれるもの
未達成C	上記に該当せず、現時点において、今後も令和3年度の目標値に達することが難しいもの

達成状況等を取りまとめた結果、【表1】及び【図1】に見るように、全107項目(再掲及び令和3年度の見直し時に事業終了等により目標値を設定していないものを除く。)のうち「達成」が23項目で、全体の約2割となりました。

一方、全体の約8割にあたる84項目が「未達成」という、非常に厳しい状況となりました。これは新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント等の中止に伴い、参加人数や開催回数等を目標値としている指標について、未達成となった項目が多かったことが要因の一つになっていますが、「No.70かくだ田園ホール利用者数」など目標は達成できなかったものの、前年度と比べ大幅に増加した指標もあります。こうした指標については、今後も新型コロナウイルス感染

症の感染状況を考慮し、必要な対策を講じながら事業の実施に取り組んでいく必要があります。

また、後期基本計画の章ごとに達成状況の割合を見た場合、【図2】から分かるように、「第1章 人が集い賑わいのあるまち」では、「達成」が全体の約3割と、今回の中では比較的割合が高い結果となっています。その中でも「No.15交流人口」については、令和元年度実績には及ばなかったものの、前年度比15%の増となり、3年連続で目標値を達成することができました。

しかし、「第2章 調和のとれた産業のまち」から、「第6章 持続的な行政経営を目指して」までの全ての章において「未達成」の割合が7割を越えている状況となっています。先述のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響によるものが一部見られますが、その中でも特に、活力ある農林業の振興、子育てしやすい環境づくり、生涯学習の推進、学校教育環境の充実、低炭素型社会への対応、市民に開かれた行政を目指して等の分野に関する指標については、政策自体の見直しが必要な状況です。

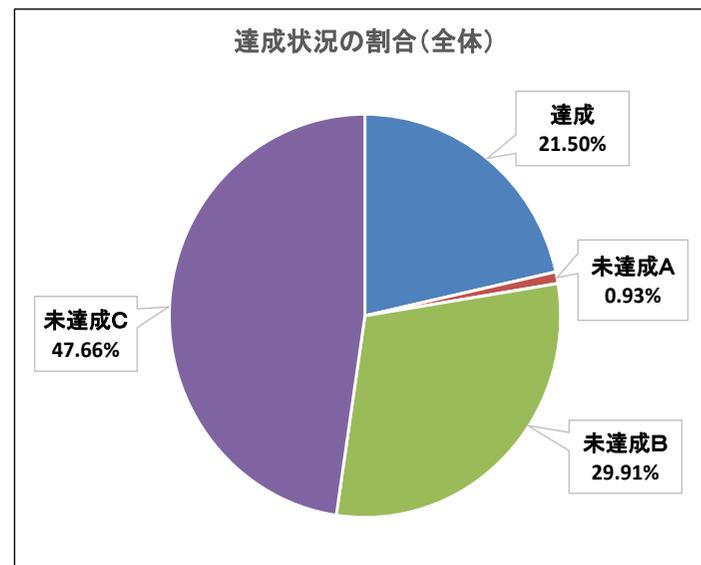
令和4年3月に策定した第6次長期総合計画では、「重要業績評価指標（KPI）」を設定しておりますが、今回の達成状況を考慮すると、第6次長期総合計画下にあっても引き続き「まちづくりの指標」の施策にしっかりと取り組んでいく必要があります。

また、新たな「重要業績評価指標（KPI）」では、業務との関連や進捗状況などを適切に管理できるよう評価方法を見直したうえで、職員一人ひとりにおいても、目標の達成に対する意識を強く持ち日常の業務を遂行していくことはもちろん、目まぐるしく変化していく社会に対応するため、必要に応じて抜本的な事業の見直しなども必要です。

【表1】 ※再掲等を除く

	【第1章】 人が集い賑わ いのあるまち	【第2章】 調和のとれた 産業のまち	【第3章】 みんなで支え あう健康で元 気なまち	【第4章】 心豊かな個性 を育むまち	【第5章】 安全・安心で 快適なまち	【第6章】 持続可能な行 政経営を目指 して	合計	割合	昨年度割合
達成 (○)	6	4	7	0	5	1	23	21.50%	13.33%
未達成A	0	0	1	0	0	0	1	0.93%	86.67% (達成見込 +要努力)
未達成B	6	7	4	9	5	1	32	29.91%	
未達成C	5	5	16	3	17	5	51	47.66%	
合計	17	16	28	12	27	7	107	100.00%	100.00%

【図1】



【図2】

